

OMIKOSHI

わっむふい

第67号

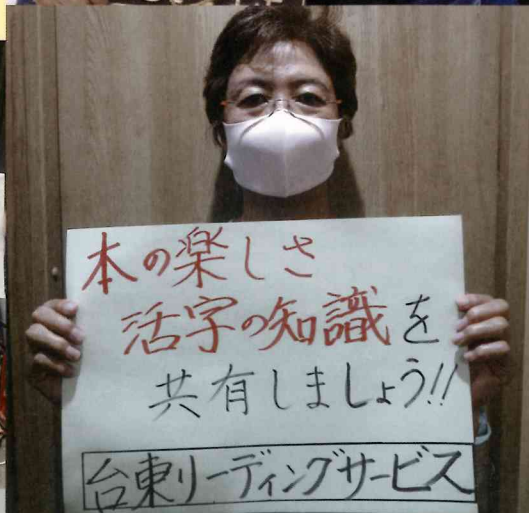
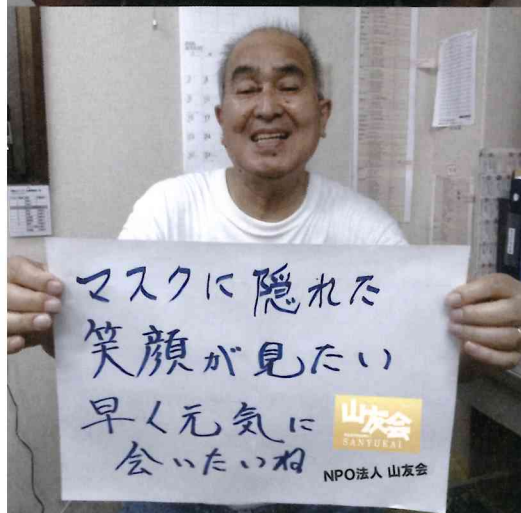


社会にはたくさんの問題が山積しています。私たちはその問題を前に、尻込みしがちです。けれども、一人では持ち上がらなくても、皆で力を合わせれば持ち上がるかもしれません。そうです、ワッショイです。ワッショイと掛け声をかけて、みんなで持ち上げてみたいのです。そんな願いをこめて名づけた情報誌です。

「つながり」をあきらめない



台東区には250を超えるNPO法人をはじめ、ボランティアグループ等、多彩な分野で活躍している地域活動団体があります。新型コロナウイルス感染症により、こうした市民活動にも大きな影響が出ています。そんな困難な時代を新たな工夫で乗り越えていこうとする、活動団体からの力強いメッセージをお送りします。



今だからこそ、助成金を活用しませんか？

新型コロナウイルス感染症との共存により、今までの組織運営や活動内容の見直しを考えている方も多いのではないのでしょうか？当センターでは、感染拡大防止に努めつつ、相談を閉じることなく継続していききたいと考えています。今号では、資金集めのための助成金情報を紹介いたします。センターには助成金の情報がストックされており、また助成金を希望する団体に対しての推薦文等も書いています。ぜひご活用ください。

*募集時期等詳細については、当サポートセンターにお問い合わせください。

地域助け合い基金

コロナ禍を乗り越えて共生社会へ

公益財団法人さわやか福祉財団

新型コロナウイルスの感染拡大により、支援が必要な方の地域における孤立は深刻となり、これまでも増して助け合い活動が必要という声が聞かれます。助成の対象活動は「地域で暮らす人同士の助け合い活動」。活動分野は、高齢者、子ども、認知症、障害、生活困窮、外国人、ケア家族の支援他、特定分野の制限はありません。ただし日本国内の活動に限ります。

○コロナ禍対応助成

コロナ禍により被った助け合い活動の被害額の支援 上限20万円

コロナ禍により生じた生活上の不便・不安を解消するための助け合い活動 上限10万円

○共生社会推進助成

地域の助け合いを維持・発展する活動（新たに団体を設立する場合、または新たに活動を広げる場合等）
上限15万円

多文化共生や外国人支援を
目指す団体におすすめ！

子どもゆめ基金

子どもを対象とする体験活動や読書活動

国立青少年教育振興機構

未来を担う夢を持った子どもの健全育成を推進するため、自然に触れ楽しむ活動、科学実験などの科学体験活動、異年齢間の交流を促進する活動、絵本の読み聞かせ会などの読書活動といった地域の草の根団体が実施する体験活動や、特色ある新たな取り組み、体験活動などの裾野を広げるような活動を中心に支援をおこなっている。1活動あたりの助成金額は、全国規模の活動は300万円、都道府県規模の活動は100万円、市区町村規模の活動は50万円が標準額。

子どもの健全育成を
推進する団体へ！



環境市民活動助成

NPO自立強化助成・活動助成・緑化植花助成・清掃助成

セブンーイレブン記念財団

全国のセブンーイレブン店頭に寄せられたお客様からの募金と、セブンーイレブン本部からの寄付金を元に、地域に根差した環境市民団体の活動に対し「環境市民活動助成」を通じて積極的な支援をおこなっている。

助成対象団体は「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証され、かつNPO法人として3年以上の活動実績がある団体。

1 活動あたりの助成金額は上限400万円／年×原則3年間 他

環境市民活動団体向け

助成金を活用している団体

特定非営利活動法人国際子ども権利センター(C-rights)さんにお話を聞きました。

国際子ども権利センター 台東区東上野1-20-6丸幸ビル3階

すべての子どもとともにやさしい社会をつくることを目指す団体です。

パブリックリソース財団★「コロナ給付金寄付プロジェクト」の助成をうけ
く子育て中の激しい感情との折り合い方>オンライン講座を開催！

★国から一律に寄付される10万円の特別定額給付金。

この給付金を本当に困っている人へ届けたいという思いから立ち上がったプロジェクトです

助成金を利用するきっかけは？

シーライツでは国内外で事業を実施しており、どちらの事業に関しても随時、事業に活用できそうな助成金を探しています。今回は国内の事業についてこれまで実施していた講座を、オンラインで実施する必要を迫られ、設備投資の面で思った以上のお金が必要となってしまいました。そういう意味では、この助成金があったからこそできた講座といえるかもしれません。



オンライン講座をおこなった反応は？

新型コロナウイルス感染症によって、大人のストレスの影響を受ける子どもたちが増えています。そのリスクを回避するためにも、たくさんの方のご参加を望んでいましたが、オンラインにしたことによって思いがけなく参加者が増え、期待以上の効果が生まれました。広く、一般的に流布できるというオンラインだからこそできる企画だと思います。途中で退室する参加者もおらず、質疑応答も大変盛り上がりました。



発展途上地域の子どもの支援事業

今後も助成金を利用されますか？

予算が十分でないNPO等の団体にとっては、助成金は心強い資金です。もちろん申請が通らないものもありますが、それにめげず、今後も積極的に利用していくつもりです。

表紙画像のご紹介

1	2
3	4
5	6
7	

1 ヨミトク会

文化と歴史をエンターテインメントで読み解きます。

2 ほおずきの会

主に知的にハンディキャップがある方の生活をサポートします。

3 うれしパンダ

産前産後のママと赤ちゃんが楽しくホッとできる場所です。

4 一般社団法人 空

障害のある方達と就労に向けてのトレーニングをおこないます。

5 山友会

台東区と荒川区にまたがる山谷地域で活動する生活困窮者支援団体です。

6 自立生活センターたいとう

障害者の自立を障害者自身も共にサポートする当事者団体です。

7 台東リーディングサービス

視覚障害のある方や高齢者、識字困難な方々へ朗読します。

NPO・地域で活動する方々のための専門相談

専門職による個別無料相談の実施をしています！

会計・税務	11月27日(金)	①14:00～	②15:00～
	12月18日(金)	①14:00～	②15:00～
法 律	11月16日(月)	①14:00～	②15:00～
	12月21日(月)	①14:00～	②15:00～
労 務	11月17日(火)	①14:00～	②15:00～
	12月 9日(水)	①14:00～	②15:00～



※申込〆切は各実施日の1週間前になります。会場は台東区社会福祉協議会です。専門相談を希望される方は、希望日時・団体名・電話番号を記入の上、電話・FAX・メールのいずれかで下記までお申してください。

専門相談をご利用いただいた声

NPO法人ラムサール・ネットワーク日本さんにお話をお聞きしました

ラムサール・ネットワーク日本
台東区台東1-12-11青木ビル

地域の草の根グループと連携し、湿地にかかわるネットワークを運営し、ラムサール条約に基づく考え方・方法により、すべての湿地の保全、再生、賢明な利用の実現に寄与することを目的とした団体です。

専門相談はNPO、社会福祉法人、自主グループ、町会等の台東区内で活動している皆様を対象です！「自分たちも相談できるかな？」という方も、お気軽にお問い合わせください。

Q 今回利用されたきっかけは？

A 個別相談の存在は知っていたけれども、私たちの団体は対象になっているのか、相談していいのかわからずにいましたが、今回思い切って連絡してみました。

Q コロナ対策として電話での相談になってしまいましたが、いかがでしたか？

A 先生が丁寧に相談に対して対応してくれたので、問題ありませんでした。

Q 実際に相談した感想を教えてください。

今後はオンラインでの相談を行なっています。

A 事務局が一人なので、相談できることがわかって心強くなりました。団体として今後やらなければならないことが明確になったので良かったです。

顔を合わせないぶん、時間をかけ丁寧に聞き取りします。



〈センター開所時間〉

平日：8時30分～17時15分

毎月第3土曜日：9時00分～17時00分(祝日、年末年始を除く)

編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響により、市民活動にも大きな影響が出ています。「三密」を避けるためには、人と会うことが難しく、これまでの活動を見直さなければならなくなっています。そんな状況下での「わっしょい」67号をお届けします。新しい時代の団体活動のご参考になれば幸いです。

台東ボランティア・地域活動サポートセンター情報誌

わっしょい 第67号

発行 2020年10月

発行者 社会福祉法人 台東区社会福祉協議会

台東ボランティア・地域活動サポートセンター

〒110-0004 台東区下谷1-2-11

Tel. 03-3847-7065 Fax. 03-3847-0190

E-mail taito-vc@jcom.home.ne.jp

URL <http://taito-sc.genki365.net/>

(台東区地域活動支援サイト)

